

飯田地区には小字名で「弁天」という地名があります。現在「ここには、飯島神社があり、祭神として宗像三女神が祀られています。しかし、以前は地名が示すように「弁才(財)天」という仏様が祀られていたと考えられます。このような変化は、明治時代の廃仏稀釈で生じた現象で、代表的なものは牛頭天王(仏様)から素戔嗚命(神様)へと変化した八坂神社・須賀神社・素戔神社などが挙げられます。飯田地区の「弁天」は、現在も清



貴重な祭礼も実施される飯田地区の飯島神社

流が流れており、この清流にあやかるため水の神である弁天を祀り始めたと考えられます。そして、隣接して太陽と同一視される大日如来(現在は天照大神)も祀られており、飯田地区では水と太陽が一緒になって信仰されてきた歴史が垣間見れます。このような観点から飯田地区は、「飯田」の名の通り、清流と太陽そして肥沃な土地柄もたらす、豊かで美味な米どころということから「飯田」という地名になったのではないのでしょうか。

清流と太陽の肥沃な土地柄がすみがうら市西部に「飯田」があります。飯田は、江戸時代に記された『新編常陸国誌』によると下土田村の一角であったものを新田開発して分村し、「飯田新田」という名称で呼ばれたことが最初と記されています。後に「新田」という表記を抜き、飯田村が誕生しました。

飯田

弁天

現在のデータ

飯田は、千代田地区の旧新治村に属し、住所大字として使用されている。梨・栗の作付が多い地方。



ふるさとの地名編



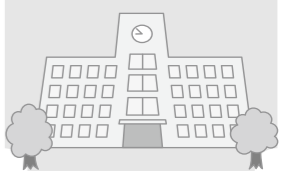
6月中旬から、専門家や大生の指導を受け、制作を行いました。放課後や休日の限られた作業でしたが、8月のあゆみ祭りには、その姿を披露することができました。縦3×横9メートルその後、壁画は南中PTAの皆様の手によって体育館に取り付けられました。郷土に生きる人々のたくましさ郷土を彩る美しい景色が南中を訪れる人々に「かすみがうらの素晴らしさ」をPRしています。機会がありましたらぜひ一見してみてください。

学校の押し

みなみ南中学校

一壁画が語るかすみがうら一

所在地 深谷 3398-2
校長 菅澤庄治
生徒数 247人
開校 昭和34年



■きっかけは「平成百景」霞ヶ浦の帆引き船が「平成百景」に選ばれ、あゆみ祭り実行委員会にて巨大な壁画を作ることになり、その壁画の制作を依頼されたのが南中の美術部でした。完成まで2カ月

★★文化協会加盟団体紹介！★★

千代田短歌会

昭和も50年とならん年に、新治小学校の校長であった仁平佐武郎先生を初代会長に20人により結成されたのが、千代田短歌会の歴史の始まりです。以来、35年の長きにわたって会員の短歌に対する気持ちは熱く、毎月の短歌会は一度も休会することなく、すでに410回を超えました。会員の1年間の詠草を合同歌集「しまぎ野」として毎年発行しており、間もなく第35号を記念特集号として発行する運びとなっています。

結成当時からの諸先輩たちのほとんどが黄泉に逝かれました。新しい会員を迎えたり、また、やむなく退会されたりもありますが、これからもこの地を人生の拠点として「和歌」という日本古来の短詩型文学を学びつつ、講師の荒木富美子先生の下、会員同士の「縁と和」を大切に自分の心を31文字に綴りながら、千代田短歌会を継続していきたいと頑張っています。

◆的場登志子(上土田)
☎0299-59-3205



合同歌集「しまぎ野」

★★体育協会加盟団体紹介！★★

スキー部

いよいよスノースポーツの季節！現在、市内には千代田スキークラブ・出島スキークラブが、一般を対象としたバスツアーや、少年団を対象としたスキー教室を開催しています。各クラブのSAJ公認指導員がレベルにあった指導を行なっています。

スノースポーツは、なんといっても汗をかいた後の温泉が最高です。今シーズンも、それぞれツアーなどを企画していますので、「心と体をリフレッシュ」しながら、一緒にスノースポーツを楽しみましょう。

ご興味のある方はご連絡ください。
◆スポーツ振興課 ☎内線 3014



文芸ひろば

俳句

残る菊神の杜より鳥の声
稽田や小町の里の硯石
この湖を目指し白鳥来たりけり
柿落葉艶を残して日を弾く
大クレーン腕伸びきって冬の空
木枯しやビルの谷間に葉の舞えり
子等の声ふんわりふわり干蒲団
宴会のグラスに滲む冬灯

大塚隼人(新治)
かのう栄(宍倉)
大西周(稲吉東)
石平周蛙(市川)
石塚文子(牛渡下郷)
大山岩男(下稲吉)
福井かつ子(宍倉)
松沢よ志の(深谷二)